

## 令和2（2020）年度 第1回柏崎市防災会議 会議録（要約）

1 日 時 令和2（2020）年9月25日（金） 午後2時30分から3時30分まで

2 場 所 柏崎市役所 第1会議室

3 出席者 出席者名簿のとおり

### 4 議 事

- (1) 柏崎市国土強靱化地域計画案について
- (2) 令和2年度新潟県原子力防災訓練の実施について

### 5 配布資料

- No.1：「柏崎市国土強靱化地域計画」の策定について  
No.2：柏崎市国土強靱化地域計画（案）  
No.3：柏崎市国土強靱化地域計画【資料集】（案）  
No.4-1：令和2年度新潟県原子力防災訓練における柏崎市が実施する訓練（概要）（案）  
No.4-2：（参考資料）令和2年度新潟県原子力防災訓練実施要領（案）

### 6 会長挨拶

（会長）

本日はそれぞれ各業界、また各般にわたる皆さまそれぞれ団体を代表して大変お忙しい中、令和2（2020）年度第1回柏崎市防災会議にご参集賜りまして本当にありがとうございます。

防災会議ですが、例年1回の開催でありましたが、本年度は議題にもありますように「柏崎市国土強靱化地域計画」の策定に伴い、この9月に追加して会議を招集させていただきました。

この国土強靱化計画ですが、全国的にこのような計画を作っており、新潟県も平成27（2015）年度に策定し、柏崎市においても今年度計画策定に着手しました。ご承知のとおり柏崎市の場合は、他の自治体と違うところは、原子力発電所が存在しているというところであり、この計画においては、原子力災害に伴うリスクを国・県は計画に入れておりませんが、柏崎市においては原子力発電所のリスクを入れこんだ方がよいということで、計画に反映させていただきました。この計画を策定するに当たり、「国土強靱化地域計画専門委員会」を設置し、防災会議の皆様の中から10名の委員の皆さまをお願いして、2回の委員会の検討を経て重ねておりますことを申し添えます。

また、もう一つの議題であります「新潟県原子力防災訓練」は来月10月24日（土）を予定しておりますが、そういった部分に関しても皆様方からのご意見を賜りたいと思っております。

いずれにしても大変皆様お忙しいところ貴重なお時間をいただいておりますので、何卒積極的なご意見をよろしくお願いたします。

### 7 議 事

#### ■議事(1)

柏崎市国土強靱化地域計画（案）について、策定の経緯及び2回の専門委員会の開催を専門委員会委員長が報告。その後、事務局が概要について説明。

[策定の経緯について]

(委員長)

・今回の柏崎市国土強靱化地域計画の策定にあたりましては、防災会議委員から6名、所属団体推薦委員として4名、合計10名体制で計画案を協議してまいりました。委員の構成としましては、資料1にも記載してございますが、インフラ、地域コミュニティ、防災などの委員をお願いいたしまして、2回の協議を実施したところであります。

この国土強靱化地域計画につきましては、「事前に備える計画」として、全国で策定が進んでおりますが、特に第2回の委員会の開催が九州の豪雨災害の後になったこともあり、より多面的な方面からの考え、意見を出してもらったと思っております。多方面にわたる委員の皆様が多くの専門的な意見を出されました。よって、この地域計画につきましては、柏崎の地域性を踏まえた計画になっていると思われまので、よろしくをお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、経過の報告とさせていただきます。

[質疑・意見等]

(委員)

・国・県の計画も見させていただいたが、自助・共助・公助に関して両方とも記載があった中で、特に、市の計画の内容は公助の部分が多いのではないかと感じた。例えば、自主防災組織が避難訓練を実施するとき、説明会等を行うことはP15に記載してあるが、上手にやりなさい等のアドバイスを無料でしていただければと思う。

・P22の食料確保の中に記載のあるカントリーエレベーターや集荷場の長寿命化を推進することについて、市が全て行ってくれるように感じたが、そのあたり説明いただきたい。

(事務局)

・自助・共助・公助については、個別の計画で柏崎市地域防災計画に記載している。今回の国土強靱化地域計画はリスクシナリオから入っていくものであるため、個別の計画の記載は難しい。

(会長)

・基本的には市で全て行うことはできないため、JAの部分、市の部分、県のお力添えを含めながらそれぞれ役割分担をしながら、長寿命化の推進を進めていくということでご理解いただきたい。市もできる限りのことはやりたいと考えている。

(委員)

・新型コロナウイルスの問題で、社会福祉協議会の職員に向けてメッセージを送っている時期である。新型コロナウイルスがニュースになってから9か月がたった今、少し気が緩む時期であるが、今後もう少し、気を引き締めなくてはいけない。あなた方職員（社会福祉協議会職員）は、エッセンシャルワーカーであることをきっちり申し上げ、そのことを心して行動なり仕事に打ち込んでほしいと申し上げている。そういった中で、国土強靱化地域計画の復旧・復興の中に、私ども社会福祉協議会の名前なり民間会社の協力要請がないのかと読ませていただいたところである。もっと、市民の生命・財産を守るという所においては率直に、地域防災計画で触れているとのことだが、少し触れるような形で記載した方が、市民からもっとわかりやすいのではないかと。

(会長)

・社会福祉協議会の会長という立場からのご意見だが、私も例えば一つ具体的な例で、昨今の新型コロナウイルス感染症の事例になるが、P8の目標2の2-5)に被災地における感染症等の大規模発生とある。新型コロナウイルス感染症とは記載していないが、色々な感染症対策を含めてということ

で、この部分は国も県もこのような記載となっていることを含めて、半年の中では新型コロナウイルスが大きな話題となり、私たち国民・県民・市民の意識も非常に高まっている。そういった中では、改めてこういった部分を含めて意識化するということは、いざという時の柏崎市社会福祉協議会の位置付け、お力添えを含めて認識するということをご理解賜りたい。どのように具体的に記載するかについては、お任せいただきたい。

(委員)

・市民に安心感を与えるためには、もう少し数字目標をあげた方がよいと感じる。次の計画で結構だが、おそらく上位計画との関わりがあって踏み込めない部分があったと思うが、例えば人口千人当たりの消防団員数がよく出てくる。これは地域で消防団が防災・減災を意識している部分があると思うが、上位計画に引っ張られているがゆえに、あまりに数字目標が少ない。特に大切なのが、力が入っていた原子力発電所の関係で柏崎市ならではの防止策で非常に細かい説明があったが、ここにももう少し数字目標が入ってくるとより安心ができたのではないか。

・市が主張していないかもしれないが、8号線に近い場所へのスマートインターの設置等について記載し、実際に実現にしていきたい。

(会長)

・自主防災組織という意味では地域の消防団が非常に大きい力になっていただいているが、その指標だけでなく数字目標をあげるべきである。例えば、町内会毎の自主防災組織の組織率は現在99%となっているが、それを100%を目指すということを含めて数字目標を色々な単位で設定するというのを、次の段階には反映していきたいと思っている。

・原子力災害等の部分に関しては、スマートインターという話が出てくるときがあるが、市としてはまずその前に、8号バイパスの推進はかなり進んだので、国道252、291及び353の国道を整備していくことを国・県に要望しているところである。

また、これから県議会でご審議いただくと思うが、国の方からは原子力災害円滑化モデル事業を採択してもらったので、県議会でも今年度から3か年、原子力防災特に夜間そして冬期間の避難に資するモデル事業を採択していただけたらと思っているため、今ほどご指摘いただいた面も含めてさらに充実強化を果たしていきたいと思っている。

(委員)

・パブリックコメントを実施したが、市民の意見がなかったのが残念であると感じた。これからこういったことは色々あると思うが、特に防災については、市民一人一人が直接関わる問題なので、何とか自分のことのように考えられる施策をみんなで検討して進めていけたらよいと感じた。

(会長)

・今回の国土強靱化地域計画のみならず、ありとあらゆることにパブリックコメントをお願いしているが、ほとんど出てこない。市としてパブリックコメントの求め方、周知の仕方という意味で工夫し、より多くの方々にご意見をいただけるよう、さらに周知の方法を考えていきたい。

## ■決定・承認

(会長)

・柏崎市国土強靱化地域計画（案）について、ご承認いただけますでしょうか。

(委員)

・異議なし

(会長)

・ご意見なしと認めます。よって、柏崎市国土強靱化地域計画（案）は承認されました。ありがとうございました。

#### ■議事(2)

新潟県原子力防災訓練について、事務局が概要について説明。

[質疑・意見等]

(委員)

・避難訓練だが、地域に参加者を20名とか10名とか割り当てると思うが、できれば、子供が小さい方とか、色んな世代層を合わせた避難訓練ができるといいかなと思う。非常時には、やはり小さい子供をお持ちのお母さんも子連れで避難しなければならない事態もあるので、訓練というのはそのための練習であるため、できたら、そういう方たちも入れた避難訓練を一度やってみたらいかか。

(会長)

・今、荒浜、二田、中通、それから、枇杷島地区において、参加していただく住民の方々の世代層はわかるか。

(事務局)

・参加者については、地区にとりまとめをお願いしているところで、どのような方が参加されるのかは、まだ把握していない。訓練において各方面、長時間のバス移動になるので、その辺も考慮していただきながら人選をお願いしているところである。

(委員)

・PAZの広域避難の方は、スクリーニングの簡易除染はあるのか。

(事務局)

・PAZについては、スクリーニングの訓練はない。放射性物質の放出前に避難を開始するということである。UPZについては、放射性物質の放出後ということで、スクリーニングの訓練がある。

(委員)

・PAZのスクリーニング訓練というのは、常に意識の中に入れておかなければならないので、ここをやるべきではないかなと思った。想定がそうであれば問題はない。

#### ■決定・承認

(会長)

今ほど説明させていただきました、令和2年度新潟県原子力防災訓練の実施について、御承諾いただきますこと、原案につきましてご意見、ございませんでしょうか。

(委員)

異議なし

(会長)

異議なしと認めます。令和2年度新潟県原子力防災訓練の実施については承認されました。議事に御協力いただきまして、本当にありがとうございました。

## 8 閉会

## 令和2(2020)年度第1回柏崎市防災会議出席者名簿

	委員氏名	所属機関および役職
会 長	櫻井 雅浩	柏崎市長
1号委員	中川 充雄	国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所柏崎維持出張所 出張所長
2号委員	山崎 理	新潟県柏崎地域振興局 局長
4号委員	近藤 喜祐	柏崎市教育委員会 教育長
5号委員	池田 和利	柏崎市 消防長
5号委員	須田千佳雄	柏崎市消防団 団長
6号委員	西巻 康之	柏崎市 副市長
6号委員	小菅 敬三	柏崎市 危機管理監
6号委員	金子 敏幸	柏崎市 上下水道局長
7号委員	相田 浩	新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センター 病院長
7号委員	内山 均	柏崎農業協同組合 経営管理委員会 副会長
7号委員	藤田 宏	東日本旅客鉄道(株)新潟支社柏崎駅 駅長
7号委員	清野 敦	日本通運(株)中越支店柏崎営業所 所長
7号委員	鈴木 正彦	東北電力ネットワーク(株)柏崎電力センター 所長
7号委員	小川 克也	越後交通(株)柏崎営業所 所長
7号委員	阿部 尚義	柏崎建設業協同組合 理事長
7号委員	今井 貢	新潟県トラック協会柏崎支部 支部長
7号委員	吉田 一彦	柏崎市ハイヤー協会 会長
7号委員	山田 大介	(株) 柏崎日報社 代表取締役社長
7号委員	岡島 利親	(株) 柏新時報社 社長
7号委員	笠原 幸子	(株) 柏崎コミュニティ放送 放送部長
7号委員	本間 厚幸	(福) 柏崎市社会福祉協議会 会長
7号委員	船岡 陽子	(一社) 新潟県歯科衛生士会柏崎ブロック 柏崎ブロック長
7号委員	高井 聡	北陸瓦斯(株)柏崎供給センター 供給センター長
7号委員	渡邊 健一	原子力規制委員会 原子力規制庁 柏崎刈羽原子力規制事務所 所長
7号委員	石井 武生	東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所 所長
8号委員	白井 広一	柏崎市コミュニティ推進協議会 副会長
8号委員	新野 良子	柏崎市男女共同参画審議会 会長
8号委員	須田 年美	かしわざき男女共同参画推進市民会議 会長
8号委員	中村 朝子	防災士チーム柏崎 会長
オブザーバー	多田 典広	柏崎警察署警備課 係長

### 欠席の委員

3号委員	金子 隆	柏崎警察署 署長
7号委員	高木 秋夫	(一社) 柏崎市刈羽郡医師会 会長
7号委員	品田 庄一	柏崎商工会議所 副会頭
7号委員	飯塚 智	東日本電信電話(株) 埼玉事業部新潟支店 支店長
7号委員	仲屋 淳	(株) 新潟日報社柏崎支局 支局長
7号委員	内藤 康子	(公社) 新潟県看護協会柏崎地区支部 副支部長